



雲龍寺の桜

平成から新しい時代へ

社会福祉法人 多摩養育園
理事長 足利正哲

満開の桜に包まれて

春爛漫 ときめきの新年度がスタート

そして 今年も 新時代の幕開けとなる

平成の三十年は 元号とは裏腹に 世界は荒れ
国内は大震災 大災害 原発事故 少子高齢化
人材難 事故多発 無責任 と

不幸な時代で幕を閉じると言っても過言ではない

改元による 新時代の到来を期待する
期待しているだけではなく

昭和 平成の反省を新時代の構築に
国民 皆で行動していかねばならない

作家の五木寛之氏は平成二十五年
多摩養育園の講演会で

「日本は世界から見て素晴らしい国
日本は もう一度 仏教を中心とした
国づくりをするべきではないか」と 締めくくった

元気に巣立った子らがすくすくと育ち
老人ホームでは平穏な日々が過ごせる
私たちは施設を地域にし

新時代を 心の花で満開にしよう

平成31年度 事業計画

1. 重点項目

- (1) 中長期的な法人運営・施設経営計画を策定し、実践していきます。
- (2) 地域公益事業への取り組みを充実し、地域の大きな家構想の推進のため、地域との連携を更に深化させていきます。
- (3) 改編した組織により法人運営を強化していきます。
- (4) 制度改正に伴う労働環境の整備に取り組みます。
- (5) 保育士や介護職員の慢性的不足に対処するため、人材の確保・育成・定着に必要な施策を展開します。
- (6) サービスの質の向上を図るとともに、老朽化施設の建替えをはじめ、利用者の福利に資する施設環境の向上に努めていきます。

2. 重点取組項目

- (1) 地域の大きな家構想の推進
- (2) 運営体制の強化
- (3) 長房南保育園の次期受託法人への引継

- (4) 精華改築事業の推進

3. 管理部

- (1) 長期安定経営を見据えた財務管理
- (2) 地域公益事業・地域の大きな家構想の拡充
- (3) 執行機能体制の構築
- (4) 職員処遇及び労働環境の整備
- (5) 人材確保・育成・定着
- (6) 安全管理体制の強化

4. 企画室

- (1) 法人事業内容の広報活動
- (2) 法人事業の企画と実践
- (3) 地域公益事業・地域の大きな家構想の拡充

5. 施設部・保育部

- (1) 理念に基づいた介護・保育の実践
- (2) 地域公益事業・地域の大きな家構想の拡充
- (3) 制度改正に伴う経営戦略の立案と実践
- (4) 人材確保・育成・定着
- (5) 人権擁護の推進
- (6) 危機管理体制の強化

平成31年度 当初予算

(単位：千円)

勘定科目	合計
事業活動による収支	
収 入	
介護保険事業収入	932,495
老人福祉事業収入	781,656
保育事業収入	2,696,739
障害福祉サービス等事業収入	536,409
生活保護事業収入	405,326
医療事業収入	24,057
介護予防事業収入	190,614
雇用関係助成金収入	300
その他助成金収入	855
子供食堂推進事業収入	120
駐車場経営収入	2,700
借入金利息補助金収入	4,464
経常経費寄附金収入	2,139
受取利息配当金収入	244
その他の収入	61,492
流動資産評価益等による資金増加額	0
事業活動収入計(1)	5,639,610
支 出	
人件費支出	3,827,929
事業費支出	836,762
事務費支出	694,548
利用者負担軽減額	400
支払利息支出	10,972
その他の支出	42,903
事業活動支出計(2)	5,413,514
事業活動資金収支差額(3=1-2)	226,096

勘定科目	合計
施設整備等による収支	
収 入	
施設整備等補助金収入	49,997
施設整備等寄附金収入	0
設備資金借入金収入	0
固定資産売却収入	0
その他の施設整備等による収入	0
施設整備等収入計(4)	49,997
支 出	
設備資金借入金元金償還支出	91,951
固定資産取得支出	119,376
固定資産除却・廃棄支出	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	11,317
その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計(5)	222,644
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 172,647
その他の活動による収支	
収 入	
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0
長期運営資金借入金収入	0
積立資産取崩収入	72,238
その他の活動による収入	0
その他の活動収入計(7)	72,238
支 出	
長期運営資金借入金元金償還支出	0
積立資産支出	202,878
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計(8)	202,878
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	△ 130,640
予備費支出(10)	7,900
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	△ 85,091

地域の大きな家

笑顔をつなげる

ボランティア紹介 光明第一保育園

新しい取り組みとして始まった、子育て家庭対象のワークシヨップの見守りボランティア。「孫ももう大きいからこんなに小さいときが懐かしい」と満面の笑顔。ママさん達とも交流が深まり笑顔の輪が広がった。



介護を学ぼう

男の介護教室 ケアメンの会

現在3割以上を男性介護者が占めているという在宅介護。いつ起こるかわからない介護に備え、施設の専門職が中心になり、男性を対象に簡単な食事作りや仲間づくりの場として「男の介護教室ケアメンの会」を立ち上げる。

楽しく食べよう

子ども食堂 光明八木町食堂

後援会など皆様のご支援のもと、オープンより丸2年を迎える事が出来ました。

「この事業に感謝し、賛同しました」「子ども達がたくさん食べてくれると思うと励みになります」と、毎月ご寄贈いただいている皆様の声。「いつもおいしい食事をありがとうございます」「ここに來ることがご褒美なの」と。これからもご利用者様の笑顔があふれる食堂を目指します。



ひろがれみんなの輪

地域拠点まつり

施設がさらに地域の拠点となれるよう、昨年度から始めた「地域拠点まつり」。夏に9カ所、秋に4カ所。企画から運営を地域の皆様と共に。今年も各拠点で開催予定。お楽しみに！



共に学ぼう

三三公開講座 檜の里

毎月1回地域のボランティア講師や協力病院の医師などによる三三公開講座を実施。八王子の歴史や介護予防、薬の事など多岐にわたる内容。利用者様、地域の方が参加し、一緒に学んでいます。



働きたいをお手伝い

就労訓練

当法人では全施設において、生活困窮者自立支援法に基づく就労訓練事業の認定を市内で2番目に受けました。

八王子市等の自立相談支援機関からあつせんされた、就労に困難を抱える方々を受け入れています。「その方の状況に応じた就労の機会の提供と生活面や健康面の援助を行い、対象者が困窮状態から脱却し、生きがいを持つて安心して地域で暮らしていけるようになること」が就労訓練事業の目的です。

現在、法人の7事業所において、延べ11名の方が訓練に励んでおり、対象者に合わせ、職員も一歩一歩活動に携わっています。

平成30年度 下半期ニュース

●高尾山に光明の新名所

11園の年長児が、高尾登山に挑戦。高尾山の伝説にある天狗の腰掛杉やタコ杉に目を輝かせる子ども達。今年も後援会のご出資による杉苗奉納。薬王院で御護摩祈禱を受け、奉納ご芳名に光明保育園の名が。



●子育て応援フェスタ 10/24

地域の子育て家庭を対象に光明ホールで開催。育児講座やワークショップ、ママカフェなど、「日頃の疲れを癒しながら親子でゆっくりと楽しめた」との声も。



●ト山法要 10/26

檀原で生まれ、120歳まで活躍されたト山禅師様の御命日。雲龍寺で檀の里



ご利用者様と光明第三・第五の園児が共にト山忌法要に参列。

●3200名参加！

多摩養育園福祉まつり2018 11/11

今年で第10回を迎えた福祉まつり。テーマは「地域と共にこれまでもこれから」。近隣町会、後援会、ボランティアの方々の協力による味自慢の模擬店や、楽しいアトラクションで盛大な10回記念となった。



●新年を祝って 1月

平成最後のお正月。成人施設では、元旦に新年祝賀式を開催。理事長が無病息災を願いだるまの目入れを。保育

園では、福笑いや羽根つきなどのお正月遊びを楽しみました。また1月7日には全年長児約三百人が雲龍寺へ初詣。初めて聞くお経、大太鼓の「ドーン」との音に、子ども達は一瞬にして神妙な姿に。さすが、光の子。



●節分会 2/13

自分で工夫して作ったお面をかぶり、「鬼は外、福は内」の掛け声とともに豆を撒き、邪気を払い無病息災を願いました。



●日本の文化伝承！ 2/7

八王子観光大使でもある五代目家元西川古柳氏。江戸時代から続く日本の文化を一人でも多くの子どもたちに継承したいとの思いで、毎年年中・年少児を



対象に光明全園を巡回。更に卒業を前に、全年長児が光明ホールで鑑賞。実際に車人形にも触れ目を輝かせる子ども達であった。

●八王子市障害者支援企業等表彰

当法人における、障害者雇用及び障害者の就労支援に関する継続的な取り組みが、障害者雇用の促進につながるものと認められ、八王子市長より表彰を受けました。



●公開講座

3/7

認知症支援のトップリーダーとして市内でご活躍の守谷卓也氏を講師に迎え「認知症にやさしい社会づくり」をテーマにいちようホールにて開催。法人の取組報告「認知症を支援する地域づくり」に続き、「認知症?それがどうしたの」を講演。地域貢献として何ができるか、改めて考える機会になりました。



●法人一斉防災訓練

3/11

東日本大震災を風化させないため、3月11日14時46分、全施設黙祷の後、大規模災害を想定し防災訓練を実施。万が一に備え、園児・利用者と共に日頃の備え、訓練の大切さを再確認した。

「やりたい」が「できた」になるまで

「見守る保育」

やらされるのではなく、やりたいと思えるように。「明日はこれをやろう!」毎日、目的をもって保育園に来られるように。自分で「やりたい」と思ったことだから、出来なくても、何度も挑戦。すぐに教えるのではなく、急がすのではなく、私たちは、子どもたちの自立的な「育ち」を見守り、支える。それが、私たちの光明の保育です。

●運動会

自分で目標を決めて!



運動会で6段飛びたい! 遊びの中で何度も挑戦してきた



リレーで勝ちたい! どうしたら勝てるか、バトンつなぎも子ども同士の考えが!

●遊戯会

台詞や振付けは遊びの中から



「こんな踊りはどう?」「衣装は自分で作りたい!」幼児クラスの劇遊びは子ども達が主体になって



「私もたくさん言葉や歌を覚えたよ!」

●作品展

子どもを知る

作品には名前がない物も。自分の子がどんな色を使ってどんな絵を描くだろうかと、想像しながら探します



「あれ?これじゃなかった」作品を探しながら自然に家族の会話が深まっています



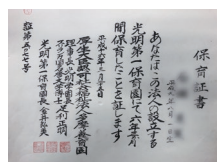
●子どもの命を育む食育

食への感謝の気持ち、命の尊さ、礼節等を精進料理から学ぶ。講師は、元大本山総持寺典座 永昌院東堂 坪川民主老師。昔の知恵と工夫を子どもや保育者のみならず、保護者や地域へ伝承。



●そして卒業

夢中になって遊び、その中で様々な学びや発見。立派に生きる力の基礎を身につけた子ども達。全年長児298名が、胸を張り元気に巣立ちました。



創設者直筆の保育証書

多摩養育園
Facebook



いいね!を押して繋がろう!

連載

八王子の名僧

ト山

⑮「町中の人はト山さまをどうみていたか」

『むかしばなし』として伝わる話のなかから二つ。

ひとつ、ト山師百十四歳。一六二〇年、二代將軍秀忠公は、仏様の教えを聴くため、師を江戸城にお招きした。しかし師はお断りした。



雲龍寺

町中の人は「御栄誉をいただきたいければ、寺も潤うのに」と言って、とても残念がった。これに対して師は「檀家が心清くあることの方が大切なのだ」と言いました。

ふたつ、自分の長寿について、「長寿は天運なり、天運は母なり」と言い、「母の業は世の中を良くすることだ」と言い、「私は坊主だから、母の役はできない。そこで私は、母の業として良き弟子を育てて行く」と自分の使命を明らかにしていました。

寺の一隅に楚楚としてすえられた代々の住職の墓石の群れ、広い大地を低い生垣をもって区画した草生す墓地群・・・この風景、ト山さまの寺への想いをよく表していますね。

文 AM 生

感謝

期間：平成30年9月1日～平成31年2月28日

ご芳情
内田智 緒方玲子 小関伸吾 精華家族会 セレモハイネ
スル 高橋米子 内藤国晴 町田照良 松浦嘉恵子 南観
光交通(株) 八木岡明美 山来弘子 渡邊愛子 以上

ボランティア

相場圭子 青木更羅 赤木美智恵 秋月京子 朝倉俊子
足利正尊 アツブリフト アプリコ田中さん 阿部智世
安藤美知子 飯井英明 新川安子 安藤美香 あんず苑
安藤貴久子 飯岡友紀 飯田昭子 飯原純子 井口良雄
池田恵美子 池田光 石井三子 石井正文 石上正作 石
坂規容子 伊勢恒二 磯沼孝 市川和江 市川和夫 市川
弘美 伊藤久美子 井上綾子 井上純一 井上藤江 今村
泰彦 岩沢果 岩瀬隆子 宇田川悦子 梅沢静子 浦民雄
江戸の阿波瑠 江成由美子 えほんの会 遠藤春代 追分
磯子連 大石英俊 大内ひろみ 大神田久美子 大木真佐
子 大木元子 大久保英子 大澤正光 太田英樹 大野宏
直 大谷征也 太田優花子 大西正恵 大野香葉子 大野
清 大野貞夫 大野由美子 岡田ハル子 岡村すみ子 岡
本悦江 岡本恵子 岡本秀俊 緒方玲子 小川法子 小川
真貴絵 奥山孝夫 小倉祥子 小倉長英 小佐野恵美子 小
長田百々代 越智曜子 小野澤寛 おはなしのたね オヒ
アラサークル 音読を楽しむ会 海崎深雪 加賀孝博
片山瑛子 勝澤幸夫 勝山洋子 加藤香津 加藤裕 加藤
樹一 加藤翔 加藤美知子 金子愛子 金子日出子 金子
陽子 金子芳子 兼平多加子 金野梓 鎌田智衣 紙本論
神藤満子 亀岡さつき 川内堀美 川崎純 川崎一
河村はるか 菊地すみ子 来住野郁夫 来住野幸子 北島
悦子 木下紀代美 木下幸子 木下節子 木原正雄 喜ら
く芸能座 工藤浩一 国定祥子 くにさんず 功刀正芳
久保里香 熊谷博子 熊切裕也 倉富久美子 栗原君子
栗原清美 黒岩とき子 桑田厚子 剣持仁美 小池弘三
小池めぐみ 公益社団法人日本動物病院協会 光明保育園
保護者会連合会 国府田俊男 郷田公子 小金井消防団第
四分団 小金井南中吹奏楽 小関早苗 後町せつ子 小林
智恵子 小林紀子 小林洋子 小林陽子 小松崎万例愛
齋藤佳子 斎藤佐和子 神英夫 坂本二子 相模原タルク
櫻井恵子 佐藤博子 佐藤洋子 佐藤八重子 佐野とも子
藤智恵子 塩田佑孝 嶋原宣子 重田武良 穴戸雅子 柴
崎恵美子 島崎温恵 島崎 恵 嶋中純子 東海林シヅ代
白山由起 シルバービーム 新開昭子 新世紀管弦楽団 杉
山純子 杉山理恵 鈴木カネ子 鈴木幸子 鈴木孝昭 鈴木
木良子 須田キヨ子 関口三次郎 関達三 センター元気
創作手話ダンス倶楽部 添石遼平 園部スフ 高橋真弓
高尾山とんとん昔語り部の会 高木陽子 高橋茂子 高見
澤淳子 滝島きみこ たくみ舞祭 田下香津 多田典子
立川太三郎 伊達めぐみ 田中智宣 田中弘子 田中美波
育園後援会 多摩養育園 田村江津子 為永登美子 多
んぼは 千田順子 千弥香 ニット 塚原良子 都筑和子

編集後記

満開の桜と共に、新年度がスタートしました。AI革命。あらゆるところに人工知能が入り込んできている事を実感する今日この頃。しかし私たち利用者は、心と心でつながる事が住みよい社会の一歩となるのではないかと考えます。法人の総利用者数2182名。今年は、22名の新人職員を迎え、一人一人の輝いた人生の実現を目指して職員一同心を込めて、それぞれの役割を果たしていききたいと思います。

題字：表紙写真 足利正哲

角田まり子 津橋祥隆 デイズBLG 土井俊彦 東京ア
〇バスクラブフジアンティーズ 東城澤太 留原自治会
当山美雪 遠竹紅平 富沢さん 富田喜美子 豊泉塾子
雲山義士 中井みさか 仲川フミ子 中谷頼子 中村和也
中村高士 中山晶子 中山裕司 なかよしこしの会 永
作一校 長澤民子 永柴孝孝 植原第一白寿会 植原東シ
ニアクラフランドゴルフ部 成宮孝子 西尾トシ子 西
野慧子 貴井南町中防災会 根岸正美 根本ヒロ子 野口
文江 野口澤太郎 ハートメイトボランティア・チャー
ム 萩原しずく 萩原茂樹 橋本隆 橋本真澄 橋本泰子
橋本利子 山田勝実 八王子おなじみの会 八王子市立第
四中学校 八王子つぎき会 八王子ジャックグループ 花
島京子 花塚郁太 馬場波雲 濱田雄樹 早川清得 平井
昭 原叶 原田敦子 原田和子 原江 原山美佐子 平井
三枝子 平林笑 広瀬優子 美神 深澤彩音 福澤智津子
福島キク 藤田幸 藤巻里恵 ふたば会 府中市介護予
防サポーター元氣一番！ひろめ隊 船木文夫 古川詔子
古川千代子 古木保 古木則子 古橋則子 古橋正比古
古谷静子 宝寿会 星野もか 星野瑠加 細洲妙子 細
谷リエ子 堀内謙 前島美津枝 まえはら学童保護者マ
ジック玉手箱 増田美和子 増洲根子 松島直子 松田重
雄 真弓幹子 三浦勝次 三浦淡豊 三浦トヨ子 三上孝
子 三品久子 三島榮子 三宅カズミ 美松和子 宮越会
宮越正子 宮崎慶正 宮崎根子 宮下町会婦人部 宮田淑
子 宮野哲雄 宮元友子 村上敏雄 元本郷町会 茂手木
斉 諸星正子 八木岡明美 八木町町会 谷津芳子 矢野
山帆 山来弘子 山崎勇 山崎和子 山下忠 山田成子
山田宏 山並三子子 湯澤光夏 夢追いシアークラブ 吉
川政雄 吉井沙樹 吉井潤哉 吉岡聖馬 吉田健志 米中
蘭子 落語サークル粋々 レアウクレレ加藤清一 レアウ
クレレの会 渡辺栄子 渡辺聡子 渡辺剛久 和太鼓響

〇資格取得〇〇
社会福祉主事任用資格 佐藤敦子 沼田明子 青木さなえ
石川由季(第二) 原砂織(第二) 五十子佑美(第五) 尾
又幸子(府中) 幼稚園教諭一種免許 白井真由美(第四)
菊池めぐみ(第七) 幼稚園教諭一種免許 大田雄仁 神
鳥幸恵 富沢陽子 村木三佳子 神林優子(第二) 鶴味の
りこ 桂真弓(第三) 小鍋佑佳子(長房南) 調理師 川
上絵里(第三) 保育士 國島美和子(第七) 永作由佳利
(第八) 防火管理者 太田都(第八)